

「のぎく友の会」  
入会随時受付中

24時間・365日対応受付

事前見積り・事前相談無料

# 無料葬儀ホール

をご利用下さい。

株式会社 増田葬祭 TEL 0182-45-4636 FAX 0182-45-2633

横手市増田町東73-8 <http://www.masuda-sosai.com/>

AISHI-  
あいし

発行日 2020.11.13  
発行所 (有)イズミヤ印刷  
十文字町梨木字家東2  
TEL. (0182) 42-2130  
FAX. (0182) 42-3001  
発行部数 27,000部  
<http://www.izumiya-p.com/>  
[izumiya@izumiya-p.com](mailto:izumiya@izumiya-p.com)  
<http://izumiya-innsatu.blog.fc2.com/>

## 了翁さんの世界

『名僧了翁さん－その人と業績－』の出版に当たって

湯沢市 高橋三男

◆リレーコラム◆  
つれづれに

埼玉県狭山市 大野 静子

今、世界のあちらこちらでは途絶えることのない紛争がつづいており、多くのかけがいのない生命が失われています。日本でも毎日のマスコミ報道では人命損傷が後を絶たず伝えられ、幼子までもがたびたび犠牲に遭い命を奪われています。

そうした二十一世紀に生きる現代の私たちからすれば、まるで夢物語のように自己献身と仏教でいう自利利他(修行で得た功德を自分のものとし、それを人々に施し救いの手を差し延べること)に徹して生きた人物が江戸の初めにいました。その行いと生涯は、奇跡と言つてもいいほどです。その人の名は、黄檗宗(禪宗)僧侶の了翁道覚と言います。

了翁禅師は、寛永七(1630)年に出羽国雄勝郡八幡村(現在の湯沢市)に生まれました。2歳の時に母と死別し、養子に出され転々とします。養家先では決まって不幸が起これり、村人からは「世上無類の悪子」と嫌悪罵倒され厄介者扱いされます。12歳の時、6里(24K)近く離れた同郡岩井川村(現在の東成瀬村)の禪刹龍泉寺の寺男となり、加賀の浪人齊藤自得の強い勧めで出家します。14歳の時初めての巡歴で中尊寺を訪れたとき、七千巻に及ぶ藤原三代以来の寺宝『紺紙金銀字文書一切経』が散り散りになってしまつていることを嘆き、身命を賭して収集することの『大願』を立てるのです。

以後20近く、北は久保田(現秋田市)の天徳寺南は長崎興福寺を行脚します。中国の高僧隱元禅師の長崎来訪の報を知るや、江戸から出向き教えを請い参禅します。33歳の時、了翁禅師は修行の妨げとなる色欲克服のために、自ら勢を絶ちます。さらに『大願成就』の祈願で、碎指・指灯の荒行を断行します。しかし、激痛を伴う後遺症に悩まれます。ある夜夢枕に立ち現れた長崎崇福寺の住持であつた明僧如定和尚の教えで、薬を処方します。塗つてみたところみごと治癒し、「錦袋圓」と名付けられたその薬は、江戸で靈薬

の評判をとり巨万の富を得ることになります。41歳のとき、少年時代からの『宿願』を、全ての經典を網羅した『大藏經』を、徳川将军家菩提所寛永寺に寄進という形で実現します。さらに、修行行脚で目にした飢餓や病苦にあえぐ民衆の姿や、檀家制度などで停滞している仏教の在り方を目の当たりにして、『大願』をさらに発展させていきます。

了翁禅師の業績として、①天台・真言・禪宗の宗派を超えた修行の中心寺院21カ寺に『大藏經』を寄進し、さらに現在の大学に相当する学問所「勸學講院」を開設し、近世仏教・教育の発展に寄与します。②日本の公開図書館創始者であること ③社会福祉事業のすぐれた先駆的実践者であること、が上げられます。巨万の富は、全てこれらに使い切れ、示寂後の私物は普段着の法衣と弟子の教育に用いる竹杖の竹籠だけだったといいます。

了翁禅師は、明治時代以降仏教や図書館学関係者以外からは忘れられた存在でした。わずかに、生誕地の幡野地区で伝説的に語られてきました。昭和五十年代に郷土史家故田口大師氏が、「湯沢に、名僧了翁さんあり」とその存在に着目し、地域にとどまらず全国へ向けて発信し続けてこれました。

この11月、了翁研究会では会創設20周年を記念して、『名僧了翁さん－その人と業績－』というタイトルで出版することになりました。

この出版は、歴史の網目から抜け落ちてしまつてゐる「了翁禅師」の存在を知っていた

だき、人となりと業績の数々を理解いただく

きつかけとなることを期待するものです。

昨今の国内外の世情を考えたとき、降つてわいたコロナ禍もあり、閉塞感が色濃く漂つています。了翁禅師が郷土の先覚者として歴史の表舞台に立つことは、地域のみならず多くの人々の心を動かし、若者たちの生き方の指針にも寄与し、未来を切り開く示唆を与えてくれるものと確信します。

今、狭山市の高齢者福祉課より委託を受けた、「青空の会」を立ち上げインストラクターとして施設を訪問し、脳トレ、ゲーム、ダンス等を行っています。

また研修会に参加して、エクササイズの進

歩も間もなく所沢早稲田キャンパスに

退職して間もなく所沢早稲田キャンパスに

通い、大学の先生方から高齢者向けの公開講

座を受けました。それが幸いしています。

また研修会に参加して、エクササイズの進

歩も間もなく所沢早稲田キャンパスに

&lt;p

